



「はな街道」笑顔で育てる人とまち

ご案内1
information

夏のお花へ植替えのお知らせ



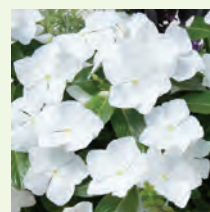
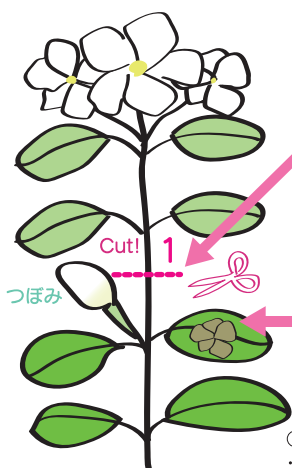
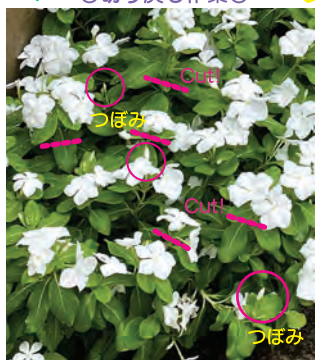
夏花はニチニチソウに植替えます。初夏から秋までお楽しみください。

切り戻しをするとボリュームアップして花もたくさん咲きます。ご協力を宜しくお願い致します。

● 植替時期：2025年5月17日より順次植替え予定

ニチニチソウ（日々草）

- 学名：Catharanthus roseus
- 別名：ピンカ
- 分類：キョウチクトウ科 ニチニチソウ属
- 園芸分類：一年草
- 原産地：マダガスカル
- 花期：5月～11月
- 花の色：白、赤、ピンク、紫、複色（今回は赤と白を植えます）
- 特徴：ニチニチソウは、マダガスカルを中心にインド、スリランカに約8種が分布する植物です。マダガスカルに分布するロゼウス種（Catharanthus roseus）を中心に品種改良された園芸品種です。亜熱帯気候の高温多湿の地域が原産の植物なので、日本の夏に育てやすく、夏を彩る代表的な植物です。
- 花言葉：「楽しい思い出」「友情」「生涯の友情」
- 由来：学名の由来は、ギリシア語で「純粋」を意味する「Katharos（カタロス）」と、花を意味する「Anthus（アンサス）」とを結びつけてつけられたとされる。和名は初夏から秋まで次々に新しい花を咲かせ、日々花が絶えないことに由来。

ニチニチソウの
花数を増やすポイント！
○切り戻し作業○

○花数を増やすための切り戻し作業○

- ・草丈の2/3残したぐらいの高さで切ります。
- ※図の1→ツボミがある上の位置
- ・切った場所の茎、右側と左側から新しい葉が出ます。
- ・その葉の茎が伸びると、葉の数が増え、ボリュームアップした姿になります。葉の数が増え、花の数が増えます。
- ・葉の上に、咲き終わった花が乗ったままだと、病気になることがあります。（雨や水に当たって、葉の上で腐りだすと、そこから病気になるやすい）ホウキなどで、掃き掃除をすると長く、健康的に育てることができます。

Cut!



○肥料：（はな街道にて実施します）

・夏の間中、花を毎日咲かせる植物です。栄養が行き渡る様、粒タイプの肥料を施します。

資料監修：SIORI SUGII はなぐみ

ご案内2
information

春の中央通りを彩るチューリップとスイセン

1万本のチューリップが咲き、今年は羽咋市よりいただいたスイセンも加わり中央通りが春色に彩られました。

花壇
情報日差しが強い日が多くなり花壇が乾燥しています
水やりをよろしくお願いします。<http://www.hanakaido.info>